

平成30年10月29日
四国電力株式会社

株式会社 ZenmuTech への出資について

当社は、高度な情報セキュリティ技術を開発し、関連製品を販売するベンチャー企業、株式会社 ZenmuTech（本社：東京都品川区、以下「ZenmuTech」）に、本日、2億円の出資を行いました。

現在の情報セキュリティ対策は、「暗号化技術」が主流となっていますが、

- ・ 暗号化は暗号鍵やパスワード管理にセキュリティリスクが集中してしまうこと
- ・ 個人情報保護への規制強化や働き方改革（テレワーク）の推進など社会環境が変化していること

などにより、さらなる情報セキュリティ対策へのニーズが高まっています。

こうしたニーズを踏まえ、ZenmuTech は、「データを守るのではなく、データを無意味化する」ことで情報漏洩リスクを分散するという考えのもと、秘密分散技術（AONT 方式）*を用いた独自の技術・製品を開発するとともに、当該方式の安全性については、国立研究開発法人 産業技術総合研究所から監修を受けた安全性評価書を作成することで理論的な裏付けを確立しています。

また、使い勝手や処理速度、コストパフォーマンス等においても優位性があり、近年、情報セキュリティへの関心が高い大企業を中心に、ZenmuTech の技術・製品を導入する企業が増加しています。

当社としては、IoT や AI をはじめとする社会的なイノベーション（Society 5.0）の進展により、さらに高度で利便性の高い情報セキュリティ対策へのニーズが高まる中、独自に開発した技術・製品により日本国内にとどまらず世界でも積極的な事業展開を目指す ZenmuTech の将来性に期待して出資することといたしました。

なお、今後は、当社事業へのシナジーについても検討を進めてまいります。

電気事業における競争が激化する中、当社は、有望なベンチャー企業への出資など新たな収益機会の発掘・開拓に向け、鋭意取り組んでまいります。

◆株式会社 ZenmuTech の概要

設 立	平成26年3月
代 表 者	代表取締役社長 田口 善一
本 社 所 在 地	東京都品川区
資 本 金 等	1.2億円（増資前）
役 職 員 数	31名

*秘密分散技術とは、一つのデータを所定の符号化手法により複数の「分散片」に変換し無意味化する技術。ZenmuTech は、分散片を異なるデバイスに保管する仕組みをシステム化し情報漏洩リスクを分散させている。この秘密分散技術の一つである「AONT (All-or-Nothing Transform) 方式」は、全ての分散片が揃わないと元データへの復元ができないという特性があり、最も復元の条件が厳しく、機密性の確保に特化した方式。（これに対し、分散片のうち一定数が揃えば元データを復元できる閾値分散方式がある。）

以 上